

## 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 19年 9月 6日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2872700444		
法人名	社会福祉法人 那珂の郷		
事業所名	グリーンヴィラ那珂		
所在地	兵庫県多可郡多可町中区牧野字木 (電話) 0795-32-5165		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	平成19年7月23日	評価確定日	2007年9月6日

【情報提供票より】 平成19年7月1日現在

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 6月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	5 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 7.1 人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨平屋 造り	
	1 階建ての	1 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	23,400 円
敷金	有(200,000 円)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

## (4) 利用者の概要(7月1日)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	3名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 82.2 歳	最低	77 歳	最高	93 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	中町日赤病院
---------	--------

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

・グリーンヴィラ那珂はまわりを木々に囲まれ、建物の中は木材がふんだんに使われて、ゆったり落ち着ける雰囲気だ。おやつの中には、大皿に盛ったスイカを利用者と職員が一緒におしゃべりしながら食べる家庭的な光景が見られた。敷地内で利用者が野菜を栽培している。収穫された野菜はその日の食卓にのぼり、季節感ある生活が営まれている。利用者の特技を活かしたレクリエーションを心がけ、作品はフリーマーケットに出品するようだ。近くに民家が少なく、地域との交流がむずかしいが、早急に運営推進会議を開いて、地域住民や地域包括支援センター等との連携体制を取ることが望まれる。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	・前回の評価に則して、職員が積極的に研修に参加すること・書類関係の整備・ケアプランに基づいたケアの統一(チームケア)・地域密着を理解する勉強会等の取組みを行った。
重点項目	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:第三者4)
	・職員の意見を聞いてまとめた。取組みを通して、職員の受けとめかたの違いや、部分的にはできているが、継続して取り組めていないことがあつことに気付いた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:第三者4,5,6)
	・運営推進会議は今のところ開催されていない。グループホームの機能を地域の人々に理解してもらう上で必要な会議だと認識しているが、開催場所や開催方法を検討中である。早急な開催が求められる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
	・運営推進会議は今のところ開催されていない。グループホームの機能を地域の人々に理解してもらう上で必要な会議だと認識しているが、開催場所や開催方法を検討中である。早急な開催が求められる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
	・近くに民家が少なく、日常的な地域住民との交流はむずかしいが、散歩や買い物の時に話しかけるよう努めている。地域の行事や高校の福祉科との交流、図書館の読み聞かせ行事には積極的に参加している。さらにいろいろな方法で地域と接点を持つことが望まれる。

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・もともと理念の中に「地域の中でその人らしく、ゆったり、和気あいあいと暮らせるように支援する」ことが入っていたが、今回地域密着型対応の独自の理念を作成した。		・地域に出かけるだけでなく、地域で利用者を見守ってもらえるよう、理念が浸透する取り組みを期待したい。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・朝の申し送りの時、全員で理念を唱和し共有できるようにしているが、地域密着型サービスの理解が十分でないと事業所は考えている。エプロンのポケットに理念のメモを入れ利用者のケアに不安になった時、目を通して職員もいる。		・地域住民に気軽に訪問してもらい、一緒に和気あいあいとした時間が過ごせるよう、積極的に地域への働きかけを望みたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・高校の福祉科の生徒との交流や図書館の読み聞かせ等に参加している。事業所の近くに民家は一軒だけで挨拶程度の付き合いをしているが、他の住民との交流はない。		・理念に掲げているように地域との双方向の関わりを持って、利用者がその一員として参加できるよう、事業所が積極的に地域と接点を持つ努力を期待する。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・今回の自己評価は職員の意見を聞いてまとめた。職員の受けとめ方の違いや、できていないことに気づき有意義だった。前回の外部評価を活かして、積極的な研修の取り組み・書類作成・ケアプランの充実とケアの統一等の改善に取り組んでいる。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・運営推進会議が開催に至っていない。</p>		<p>・利用者が地域で暮らし続ける基盤作りのためにまず事業所が地域に理解してもらい、受け入れられることが大切だ。早急に会議を開催することが求められる。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・町役所の福祉課へ管理者や介護支援専門員が事業所の実情の説明や困難事例の相談に行っているが、一層の連携強化が望まれる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・毎月利用者の外出時の写真等を載せた近況報告と月間計画を担当職員が家族等へ送付している。その他状況に応じて、随時報告している。</p>		<p>・家族等が来訪時には、事業所内での暮らしぶりを報告している。家族等から以前はできていたこと等を聞き、ケアの参考になっている。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・事業所の苦情受付担当者には家族等から苦情や意見が言いやすい人を配置している。年1～2回懇親会を開いて、家族間の情報共有と苦情等が表せる機会を設けている。</p>		<p>・家族等参加の運営推進会議の活用を望みたい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・職員交代時の利用者のダメージを防ぐように、新任者に対して利用者の全体像を理解してもらい、その後だれが対応してもその人にふさわしいケアができるように馴染みの職員と一緒に引継ぎをしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・月2回のミーティングで認知症や地域密着型サービスの理解について勉強会を継続している。外部研修は情報を提供し、希望する職員が受けやすいように配慮している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・多可町にグループホームの連絡会はないが、ケアマネ連絡会や他市町のグループホームと交流して、質の向上のための情報交換や相互訪問に努めている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・利用前に事業所に来て馴染んでもらえるように努めている。職員はできるだけ本人が安心できるような対応を家族等と話し合い心がけている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	・利用者は、調理の手伝い、洗い物、木工芸等の得意分野での力を発揮している。職員の顔色が悪い時には、心配したり励ましたりもしてくれる。		・利用者の作る竹やつるを使った工芸品をフリーマーケット等に出品しようと計画している。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・利用者の思いや意向を生活歴や日常の会話の中から読みとるとか、センター方式を活用して援助する側からではなく、本人側からの思いや求めているものを理解するように努めている。</p>		
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・認知症ケアのセンター方式を取り入れ、利用者主体の立場から、本人、家族、職員と話し合い、介護計画を立てている。</p>		<p>・事業所は社会資源の利用、地域住民の協力、ボランティアの活用等地域の一員としての地域に密着したプランを立てたいと意識している。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・月1回の定期見直しの外、職員は気付いたことをノートに記録しミーティングで意見を出し合い、随時見直しをしている。医師の助言も見直しに反映している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・移送サービスについての通院介助等は、その都度対応している。</p>		<p>・さらに、個々の家族の状況も考慮した柔軟な取り組みを期待したい。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・利用者個々のかかりつけ医を基本とし、看護師が必要に応じて、随時通院に同行して状態把握や相談をしている。協力機関である日赤病院との連携も確保され、緊急時にも対応している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・食事が取れない状態やそれ以上重度化した場合は、対応出来ない方針としている。対応困難になった場合は、早い段階で主治医、家族と相談し支援するよう努めている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・常に、職員間で確認し合い勉強会も持っている。特に個人の羞恥心に関しては個別に配慮している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・みんなで一緒にすることもあるが、一人で過ごしたり、散歩をしたりと毎日個々の過ごし方の希望を聞いて対応している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・庭の畑で収穫した野菜を素材に、利用者の好みのメニューを考え、後片付けまで利用者とともに関わっている。利用者の作った野菜を調理し一緒に食べることで会話が弾んでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入浴回数、時間は可能な限りその人の好みに合わせて対応している。入りたい時に入ってもらおうようその時々希望を聞いている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・毎朝門の鍵を開け、新聞を取りに行くことを日課にしている人、洗濯物を干すことから畳むまでを仕事としている人、昔の歌を歌うことを楽しみにしている人など個々の役割や楽しみを見い出して支援している。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・ホームの回りを散歩したり、畑の草むしりをしたり、買い物に行くことなどその日の過ごし方も含め、一人ひとりの要望に添えるよう支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・日中は、玄関に鍵をかけていない。外に出られる場合は、さりげなく職員がついていくようにしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・年1回、夜間想定の大規模訓練を行っている。内部関係者のみの訓練で、消防署の立会いは行われていない。</p>		<p>・内部関係者のみならず、消防署や地域の協力をえられる体制づくりが望まれる。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・栄養摂取量は、食事量によって把握しており、水分摂取については、利用者好みの飲料を用意し飲めるよう対応している。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・共用部分のスペースは恵まれており、装飾は木製の手作り品が置かれ、木のぬくもりが感じられる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・居室ごとに、違う暖簾が掛けられており、自分の趣味のものや写真を飾っている人もいる。ホームからは家族に相談しながら使い慣れた家具の持ち込みをお願いしているが、持って来られる人は少ない。</p>		<p>・今後、ホームとして木製の家具を用意することを検討している。</p>

 は、重点項目。